

研究室だより

具山久子

また沈丁花とこぶしの季節がまいりました。月日のたつのは本当に早いものです。

この一年の研究室の最大の出来事は、やはり赤木健先生をお送りして、新任に都立大学から吉田栄夫先生をお迎えしたことでしょう。吉田先生は南極の越冬隊の一員で、地理学と地質学の両分野にわたる広汎な学識をお持ちになり、しかも赤木先生の $\frac{1}{2}$ - X くらいのお若さです。一般教育の地学、専門の地質鉱物学のほか地学巡検、4年生の卒論指導その他いろいろ担当して下さることになりました。これで研究室も3~4回生の頃に較べてずい分メンバーチェンジし、且つおおいに若返りました。

36年度の特別講義には、別枝先生の政治地理学、福井先生の気候学特講、有末先生の交通地理学がありました。また都立大学の戸谷洋先生が、とくにこの一年間地質鉱物学を担当して下さいましたが、定評のある懇切丁寧なお講義に加えて、頻繁に試験があり、学生は大いに鍛えられて本当に幸せだったと思います。理学部上級生の受講する人も多く、テストの結果はいつも地理学科生がふるわなくて、申し訳ないようでごさいました。吉田先生は戸谷先生の教え子の御よしですから教授法も受けついでいらっしゃるかもしれません。

37年度には別村先生の厂史地理、保柳先生の中国地誌、木内先生の都市地理、幸田先生の工業地理が予定されています。乞御期待。

渡辺先生は学術会議の地理学研究連絡委員会委員長として、昨夏は常夏の象園ハワイでの *Pan Pacific Science Congress* に参加なさり、またこの4月にはクアララルンプールで開催される、東南アジア地理学者会議に出席のためマラヤに飛ばれます。“ハワイやマレーに行くのは九州に行くより余程気楽”の御よし。また日本地理学会の常任委員長として、学会の運営にも当られることになりました。御活躍をお祈りいたしましょう。

松井先生はこの頃頻りに私のことを古参古参とおっしゃいますが、それはきつとご自分のすぎこし方を、しみじみ思いおこしていらっしゃるからだと思います。女高師時代をご存知の唯一の方である先生が、この学校ですごされた年月を長かつたとお思いになるか、またその逆かは残念なうかがうこ

とが出来ませんでした。

浅海先生は多年のご研究の結果いよいよ論文をおまとめになったとか、某大学に提出なすったとか——。ともあれ早晚わが研究室には新博士が一人誕生の予定です。先日お導だけはかまびすしかったヴァイオリンを演奏して下さいました。シヨパンがお得意のようです。

式先生は昨年より学生委員に就任され、学生と大学の間にあつて、学生生活のよりよき推進のため貢献していらっしゃる。また先生は目下辻堂にステキなお家を新築中です。海に近くて夏はとくに快適のよし。海水浴は辻堂で——ということになりそうです。

井上さんも私もこのところ頗る元氣。流行の風邪も寄せつけませんでしたからご安心下さい。尤も私は昨夏病氣をして、卒業生の方にまでご心配をおかけしてしまい、本当に申し訳ございませんでした。もうすっかり元氣になりました。35才は人生の曲り角だそうで、精神的にも肉体的にも転機にあり不安定で若さと美貌にもお別れなのだそうです。普流に言えば厄年ですが、当節は厄年も男女平等になったようです。そういえば式先生の御新築も、私の病氣もそれに関係がありそうで、どうも35才に間近い方は、一般と美容と健康にご注意下さい。

それから7回生の鈴木友子さんが、空中写真の整理その他のお手伝のため週に3日研究室にみえています。

今年の卒業生は13人で全員就職。官方、学校、会社、マスコミ関係、研究所等々、まことにバラエティーに富んでいます。教職その他地理を生きし得る人が比較的少ないのは新制大学のたてまえ上当然のことと思えますし、また全員就職したことは、国立女子大学が高級花嫁学校でないことを証明するためにも、大いに有効であつたと、御同慶にたえません。

先号発刊以降の卒業生のおめでたは次の通り。ご多幸をお祈りいたします。3回生瀬戸さん、5回生佐藤さん、布施さん、山中さん、6回生小泉さん、谷口さん、永井さん、7回生伊木さん、井上万恵子さん、小田島さん、北中さん、佐藤さん、森さん、山本さん、8回生岡さん、川茂田さん、9回生吉野さん、10回生伴さん。

前々から願っていた地理学科のオー同窓会が、昨秋文化祭の日に、8回生の岡崎さん水谷さんのお世話で開かれました。飯本先生もおいで下さり、楽しい半日でした。毎年開催の予定ですからどうぞふるって御出席下さいますよう。また改姓転居その他変更がございましたらご通知いただきたく、この小冊子が卒業生、在校生、研究室を結びきずとなることを心から祈っております。